

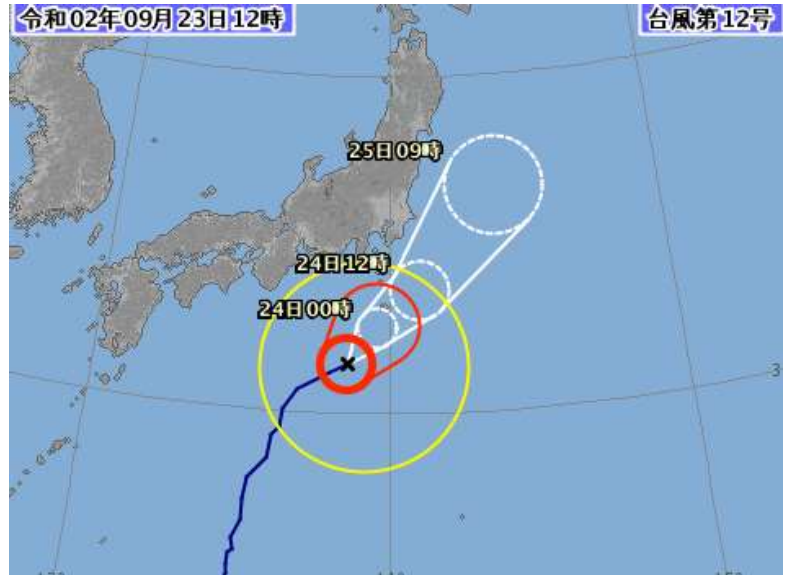
台風12号の接近に伴う注意喚起

各種報道のとおり台風12号は明日24日に八丈島、25日に東北地方への接近が予想されております。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1. 台風12号の進路予測

9月23日午後12時45分の気象庁予報部発表によると、台風12号は八丈島の南南西にあって、時速およそ20キロの速さで北東へ進んでいます。中心の気圧は975hpa、中心付近の最大風速は30m、最大瞬間風速は45mです。

台風は今後次第に進路を東寄りに変えて、24日(木)には関東の南岸を北東に進み、25日(金)早朝にかけて関東南東沖から東北地方に最接近する見込みです。現在日本列島に秋雨前線がかかっている影響で、太平洋沿岸部を中心に次々に雨雲が流れ込み、台風の接近前から大雨に警戒が必要になる可能性があります。



台風12号の進路予測(9/23午後12時45分気象庁発表)

2. 気象予想

【大雨】

台風や秋雨前線の影響により、千葉県や伊豆諸島など東日本から東北地方の太平洋側を中心に、23日(水)今夜から大雨となる見込みのため、25日(金)までの総雨量は関東の平野部でも200mm前後に達する予想となっています。東北の太平洋側でも雨量が増える見込みで、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒が必要です。

【強風】

伊豆諸島や関東では明日24日(木)にかけて最大瞬間風速35メートルの非常に強い風が吹く恐れがあります。台風12号は26日(土)未明には温帯低気圧に変わる予想ですが、広範囲で風が吹き荒れるので、油断を許しません。

3. 事前の対策について

台風12号は当初の予想よりも東寄りとなり関東沖を少し離れて通過する可能性が高まったことや、先日の台風10号と比べれば勢力としては劣るものの、秋雨前線とあいまった大雨や強風の被害が予想されておりますので、対策は本日23日(水)中に進めておくことがポイントとなりそうです。

台風対策の基本は、風雨からの『遮断』と浸水に対する『高所避難』となります。現場用点検チェックシートを添付致しましたのでご活用下さい。また、次ページの表は、平均風速や予報用語を人や自動車・建造物への影響をまとめたものです。

平均風速15~20m/sの風が吹くと、取付が不十分な看板等が飛び始めます。更に強くなると建造物の損壊や、大規模な交通障害など社会に甚大な被害をもたらします。

強風・暴風域に入る前に、外にあるものを屋内に避難させる、シャッターや窓ガラスの破損を防ぐ手当をするなど、被害を未然に防ぐような対策をご検討いただく上での一助となれば幸いです。

平均風速	10～15m/s	15～20m/s	20～25m/s	25～30m/s	30m/s～
予報用語	やや強い	強い風	非常に強い風(暴風)		猛烈な風
時速(約)	～50km/h	～70km/h	～90km/h	～110km/h	110km/h～
速さの目安	一般道の自動車	高速道路の自動車			
人	風に向かって歩かなくなる。傘がさせない	風に向かって歩けなくなる。転倒する人もいる	しっかりと身体を確保しないと転倒する	立ってられない。屋外での行動は危険	
樹木、電柱	樹木全体が揺れる 電線が鳴る	小枝が折れる 電線が切れる	樹木が根こそぎ倒れ始める 電柱が倒れる		
車の運転	道路の吹流しの角度、水平(10m/s)高速道路で乗用車が横風に流される感覚	高速道路では横風に流される感覚が大きくなり、通常の速度で運転するのが困難	車の運転を続けるのは危険な状態		
建造物	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める	ビニールハウスが壊れ始める	シャッター(鋼製)が壊れ始める。風で飛ばされたもので窓ガラスが割れる	ブロック塀倒壊、取付け不完全な屋外外装材がはがれ飛散	屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊

出典：気象庁 HP データを加工



【出典】気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

